

紋別市地域公共交通活性化協議会

平成20年1月18日設置
平成21年2月9日連携計画策定



紋別市

概要

紋別市は、広大な市域に集落が分散していることもあって、効率的な路線バスの運行が難しく、郊外においては全て赤字路線であるほか、公共交通空白地帯も存在する状況にあることから、バス路線網の再編・公共交通空白地帯対策の推進、バスを利用しやすい環境の整備、バス路線維持に向けた地域による自主的な取り組みの推奨、商店街・観光施設等との連携等により、公共交通の利便性や快適性の向上を図り、地域における交通弱者の移動手段を確保するとともに中心市街地のにぎわい・観光交流を創出し、継続可能で地域の活性化に寄与する公共交通体系の構築を図る。

バス路線網再編・公共交通空白地帯対策(21年度～)

- 合理的、効率的なバス運行形態を構築するため、市内4路線のバス路線及びダイヤを見直し、市内循環線として統合・再編を図るための実証実験を行う。
- 公共交通空白地帯での少人数の需要に応える輸送方法として、混乗を実施済みのスクールバスを含めデマンドバスによる運行について検討を行う。

バスを利用しやすい環境整備(21年度～)

- バスを利用しやすいチケット、運賃体系の構築を図るため、バス路線網再編と合わせて、市内全路線で利用可能な共通チケット、乗継券、1日券の発行などの検討を行う。

地域による自主的な取り組みの奨励(21年度～)

- バス路線の維持に向けて、待合所の清掃、除雪などの維持管理を地域が主体となって取り組む仕組みづくりや既存店舗などの待合空間としての活用について検討を行う。

商店街・観光施設等との連携(21年度～)

- バス利用者と商店街の買物客相互の確保に向けて、バス利用者に商店街で使用できるクーポン等発行の検討を行う。
- 観光目的に利用されるバスの利便性向上のため、空港・主要観光施設等と連携したバス運行の実証実験を行う。

